

製品名: Rad54 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab16849

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	85kDa

抗原情報

遺伝子名	RAD54L
別名	RAD54L; RAD54A; DNA repair and recombination protein RAD54-like; RAD54 homolog; hHR54; hRAD54
遺伝子 ID	8438.0
SwissProt ID	Q92698
免疫原	抗血清はヒト RAD54L 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 221-270

背景

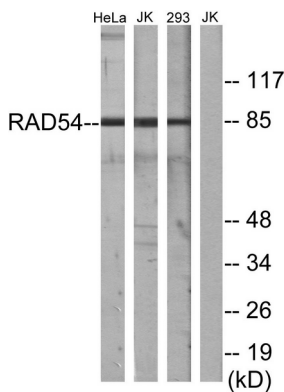
この遺伝子によってコードされるタンパク質は DEAD 様ヘリカーゼスーパーファミリーに属し、DNA の相同組換えおよび修復に関与

することが知られているタンパク質であるサッカロミセス・セレビシエ (*Saccharomyces cerevisiae*) の Rad54 と類似性を共有しています。このタンパク質は、DNA 二本鎖切断の相同組換え関連修復において役割を果たすことが示されている。このタンパク質が二本鎖 DNA に結合すると DNA トポロジーの変化が誘発され、相同 DNA のペアリングが促進され、DNA 組換えが刺激されると考えられています。選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 12 月]、疾患: RAD54L の欠陥は腫瘍形成の原因となる可能性があります。原発性腫瘍のごく一部に変化が見られますが、これらの知見は発癌の根底にある遺伝的不安定性に関する新たな知見をもたらします。機能: DNA 修復および有糸分裂組換えに関与する。組換え DNA 修復 (RAD52) 経路において機能する。RAD51 を dsDNA 上に形成された核タンパク質フィラメントから解離する。RAD51 タンパク質-dsDNA フィラメントのターンオーバーに関与している可能性がある (類似性に基づく)。哺乳類細胞におけるテロメア長維持およびテロメアキャッピングにおいても重要な役割を果たす可能性がある。誘導: 細胞周期の他の期と比較して、G1 期後期では発現が約 3 倍増加する。類似性: SNF2/RAD54 ヘリカーゼファミリーに属する。類似性: ヘリカーゼ ATP 結合ドメインを 1 つ含む。類似性: ヘリカーゼ C 末端ドメインを 1 つ含む。サブユニット: NH2 末端ドメインを介して RAD51 と相互作用する。、

研究分野

相同組換え;

画像データ



RAD54 抗体を用いた HeLa 細胞、Jurkat 細胞、および 293 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。